

高い技術で世界大手を相手に積極海外展開 雇用を始め様々な側面で地域経済も活性化

国内の製鉄メーカーに、高炉等で使用する微粉炭吹込みバーナー（PCバーナー）、出銑用開孔ドリル及び特殊工具を、オーダーメイドで設計、製造、販売する。当社の特徴は2つあり、1つは経営理念に「不可能を可能にする会社」を掲げ、顧客、特に現場が困っていることを解決するという、課題解決型の企業であること。もう1つは知財戦略を経営の柱とし、大分県内の中小企業ではほとんど無い、知財課を早くから設置し、開発品については特許を取得し、販路拡大を狙うこと、である。

● 所在地 大分県大分市青崎一丁目3番42号
● 電話／FAX 097-578-6156／097-578-6157
● URL <http://www.trytec-japan.com/>
● 代表者 代表取締役 竹崎 博

● 設立 2005年
● 資本金 1,000万円
● 従業員数 29人



需要獲得

世界大手高炉メーカーからも技術が認められ、海外展開を加速

回転式PCバーナーは、国内実績が高く評価され、海外の大手製鉄メーカーにおいてテスト導入が決定する運びとなった。その他の海外大手高炉メーカーとも戦略的な提携を締結し、海外展開を加速している。取引において、世界各国で特許出願中（既に4か国で特許取得）であることが強みとなっており、海外展開においても知財を経営戦略として有効に活用している。海外大手製鉄メーカーとの取引獲得は、日本の中小企業としては快挙と言える。



同社が海外にも誇る回転式PCバーナー

ビジネス、雇用などのモデルとなる取組みで、地域経済を活性化

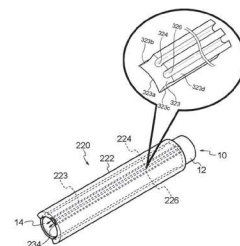
モノづくり産業は重要な地域資源。大分臨海コンビナート地帯の大手製鉄所に当社テスト製品が採用されたのが起業のきっかけで、その後も、製鉄所、コンビナート企業の課題解決に取り組んだことが現在の飛躍に繋がっている。近年では県内中小企業と連携、IoT活用プロジェクトに参画するなど、他社との連携により大型案件も受注。従業員数もこの5年間で20名以上増加しているが、今後も雇用を計画している。知財活用、海外展開、雇用などで地域中小企業のモデルとなって、地域経済を活性化している。



同社の発展を支える従業員の姿

長年培った経験で医療分野へ新規参入し、企業価値を向上

異業種交流会での出会いをきっかけに、新分野へのチャレンジとして、国立大学医学部と連携して、世界初となる医療機器を開発中。具体的には、鏡視下手術で用いられる硬性内視鏡スコープのレンズを、体内で術中に洗浄する装置の開発に挑戦。未だ世界で実用化されたものは無い、「医療業界の有名課題の1つ」を解決する。特許も取得済みで、非臨床試験、認証等を経て、上市を目指す。長年培った経験で、医療分野でも社会に貢献する企業として、企業価値の向上を図っている。



特許を取得した硬性内視鏡スコープレンズ

ものづくり